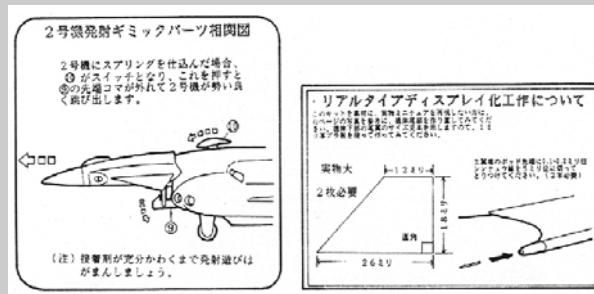


第36回 ジャンボフェニックス(WAVE)の巻



朝焼けの光の中に立つ影は 今回も歌で始めさせて頂いております。余り記憶が無いのですが、小生は子供の頃、この歌で始まる特撮TV番組「ミラーマン」が大好きだったらしいです。家探ししても玩具の類が発掘されないので半信半疑だったのですが、絵本を見ながら自分で絵を描いて遊んでいたそうです(家族の複数証言有)。言われてみれば確かに記憶がありました。

今回取り上げたジャンボフェニックスは地球防衛組織SGM専用の戦闘機で、移動基地の機能も有するためかなり大型の機体です。最大の特徴は機首部・胴体上部・胴体下部の3つに分離が可能なことです。ちなみに機首と胴体上部は銀色、胴体下部は赤系統の色です。劇中での活躍シーンは...思い出せません(泣)。ただこの分離機能は大好きだったみたいで、ジャンボフェニックスを絵本から写し取りハサミで切り離して合体遊びをするのを毎日飽きずにやっていたそうです(なんか伝聞調ばかりで申し訳有りません)。プラモデルという物の存在すら知らぬ頃の話で(なにぶん就学前でしたから)、知っていれば間違ひなくねだっているでしょう。おもちゃを買わなくても遊べたんです幼少の頃は(笑)今はおもちゃを買うことが目的みたいですが..



キットデータ

メーカー	WAVE
スケール	1/200
当時価格	950円(税抜)

いろいろ調べたところ、ジャンボフェニックスのプラモデルは何種類か発売されており、大きなものは設定通りの3機分離が可能だったみたいです(某オクでは組立途中の物がとんでもない価格になっています)。今回取り上げたモデル(スケール表記は再販時のものと思われる)は元々日東で作られたもので、機首部分のみスプリングで分離するようになっています。再販時にスプリングやゼンマイボックスは省略されたのですが、発射ボタンの部品は残されており、改造方法も組立説明図に紹介されています(左図参照)。更にはゼンマイボックスの為省略されている翼の寸法やディティールアップガイドまで付属する有様で、どう見ても新規の顧客を想定していないようです。

それにしても、当時の自分がクレヨンで描いた絵、どうしてビデオも資料集も無いのにあんなに正確な形をしているのでしょうか?

子供の頃は真剣にテレビを見ていたんだ
なあ…